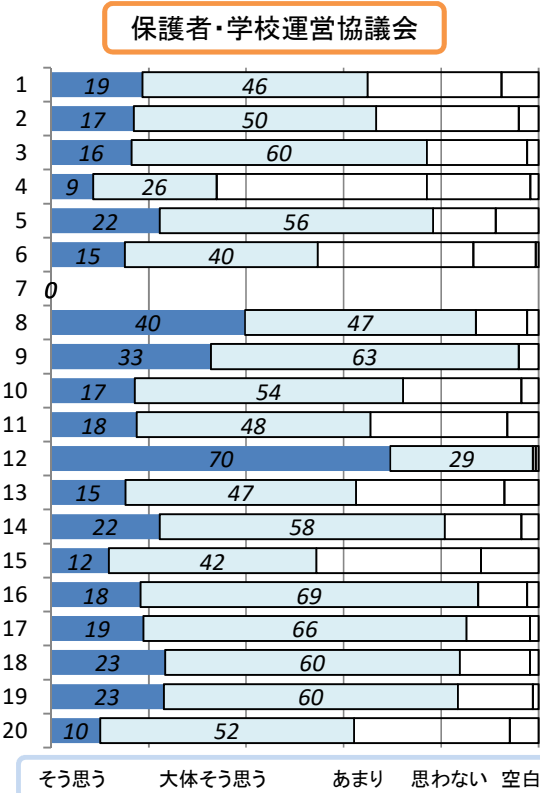
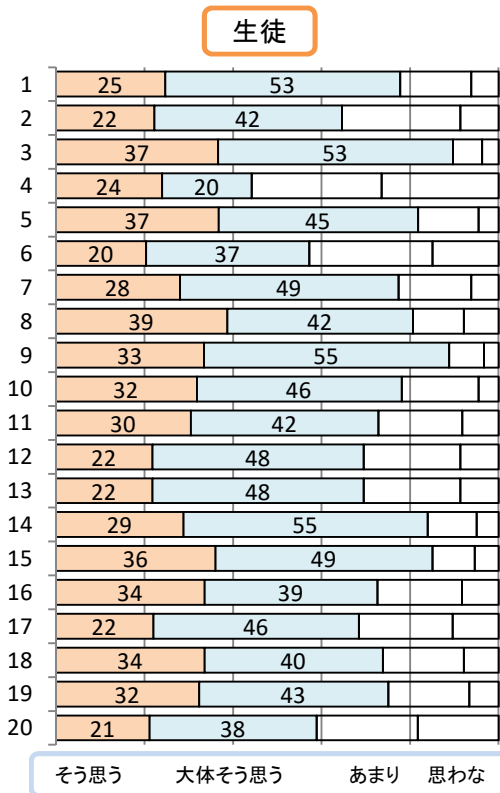


○目指す子ども像(ブロック共通) 夢の実現に向けて、共に楽しく学び、たくましく伸びていく子の育成
重点目標(児童生徒の共通する課題より) (1)コミュニケーション能力を育成するための“言語活動”を充実する。～つながる・深める・伝え合う～ (2)児童生徒が主体的に活躍できる場面を設定し、自己肯定感や自己有用感を高める。
○洛西中学校めざす生徒像 ①「学ぶ楽しさ」と「わかる喜び」を実感し、夢や希望に向けて主体的に学習に取り組む生徒(知) ②自分や仲間の良さや違いを認め尊重し、支え高め合える生徒(徳)
③ 命を大切にし、健康で安全な生活を心がけ、明るく活き活きと生活できる生徒(体)

※単位は%

質問項目	
確かな学力	① 学校の勉強はわかりますか
	② 自分の意見や考えを話すことができていますか
	③ 人の意見や考えをしっかりと聞くことができていますか
	④ 進んで本を読むことができていますか
	⑤ 毎日、忘れ物をせずに、学習の準備をすることができていますか
	⑥ 毎日、家庭学習をすることができていますか
	⑦ 授業や学校生活の中でがんばったことを先生はほめてくれますか
豊かな心・健やかな体	⑧ 学校に楽しく通うことができていますか
	⑨ 学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか
	⑩ 地域の人、先生たち、友だちに進んであいさつができていますか
	⑪ 規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)ができていますか
	⑫ 自分にはよいところがあると思いますか
	⑬ 難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか
	⑭ 学校のきまりや約束を守ることができていますか
学校・家庭・地域との連携	⑮ 自分から進んでそうじや係活動、委員の人は委員会活動ができていますか
	⑯ 学校からのプリントをお家の人に見せていますか
	⑰ わからないことや困っていることを先生に相談することができていますか
	⑱ お家の人に学校でのできごとを話していますか
	⑲ お家の人や地域の人からほめられることがありますか
	⑳ 地域の人との交流(洛フェスや学区民運動会等の行事)を楽しみにしていますか



	そう思う		大体そう思う		あまり		思わない		空白	
	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人	生徒	大人
①	25	19	53	46	16	27	6	8	0	0
②	22	17	42	50	27	29	9	4	0	0
③	37	16	53	60	7	20	4	2	0	0
④	24	9	20	26	29	44	26	22	0	2
⑤	37	22	45	56	14	13	5	9	0	0
⑥	20	15	37	40	28	32	15	13	0	1
⑦	28	0	49	0	16	0	6	0	0	0
⑧	39	40	42	47	12	11	8	2	0	0
⑨	33	33	55	63	8	4	3	0	0	0
⑩	32	17	46	54	17	24	5	4	0	0
⑪	30	18	42	48	19	28	8	6	0	0
⑫	22	70	48	29	22	1	9	1	0	0
⑬	22	15	48	47	22	30	9	7	0	0
⑭	29	22	55	58	11	16	5	4	0	0
⑮	36	12	49	42	10	33	5	12	0	0
⑯	34	18	39	69	19	10	8	2	0	0
⑰	22	19	46	66	21	13	10	2	0	0
⑱	34	23	40	60	18	14	8	2	0	0
⑲	32	23	43	60	18	15	7	1	0	0
⑳	21	10	38	52	23	32	18	6	0	0

「確かな学力」 (アンケート番号①～⑦)

今回のアンケート結果から見えてきたことと、これから意識的に取り組んでいくことを、以下に記載します。

① 基礎的・基本的な知識・技能の定着

「①学校の勉強はわかりますか。」は、後期は「そう思う」25%、「大体そう思う」53%で、78%の生徒が概ねわかると回答しています。しかし、前期と比較すると、「そう思う」が7ポイント、「そう思う」「大体そう思う」の合計が4ポイント減少しています。4・5月の臨時休業で、授業のペースを速めざるを得なかったことが、一因であることが、「ペースが速くなってついていけない」などの自由記述からわかりました。授業の中で、定着度を丁寧に見るとともに、既習の学習内容との関連付けを重視し、知的好奇心をくすぐるような導入・発問の工夫、スモールステップで「できた」や「わかった」の喜びを体験させることができる展開の工夫等、引き続き授業改善に努めていきます。「③人の意見や考えをしっかりと聞くことができていますか。」は、前期は「そう思う」36%、「大体そう思う」54%で、後期は「そう思う」37%、「大体そう思う」53%と、ほぼ変わらず高い状況です。生徒の話を聞く姿勢が、定着してきていることがわかります。

② 思考力・判断力・表現力の向上

「②自分の意見や考えを話すことができますか。」については、前期は「そう思う」25%、「大体そう思う」41%でしたが、後期も「そう思う」22%、「大体そう思う」42%と、ほぼ変わらず、あまり高くない状況です。次年度から新学習指導要領が全面実施になるのを踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現していくためにも、多面的・多角的に考察したことを、他者にうまく伝える工夫をするなどの授業に取り組んでいきます。また、コロナ禍の中、GIGAスクール構想の下、Microsoft365など、ICTを有効に活用していきたいと考えています。

③ 家庭学習の習慣化

「⑥毎日、家庭学習をすることができていますか。」については、前期は「そう思う」22%、「大体そう思う」33%でしたが、後期も「そう思う」20%、「大体そう思う」37%と、ほぼ変わらず、あまり高くない状況です。家庭学習によく取り組めていない生徒に対して、自らの夢や目標の達成のために取り組む必要があることを認識させ、進路実現に向けて主体的に自学自習に取り組めるように、今後も働きかけていきます。

「豊かな心・健やかな体」 (アンケート番号⑧～⑬)

今回のアンケート結果から見えてきたことと、これから意識的に取り組んでいくことを、以下に記載します。

① 豊かな心の育成

「①学校に楽しく通うことができていますか。」は、「そう思う」と「大体そう思う」を合わせて、前期は86%であったが、後期は81%となりました。また、「そう思う」も前期は46%であったが、後期は39%となりました。学校が生徒にとって楽しい場所となるように、仲間づくりや絆づくりに取り組んでいますが、そうならないと感じている生徒が増えたことは気がかりです。一つの要因として、コロナ禍での学校行事の縮小・中止や部活動の制限などが考えられます。

そのような中、「②学校では先生や友だちから大切にされていると思いますか。」は、前期は「そう思う」34%、「大体そう思う」52%で、後期も「そう思う」33%、「大体そう思う」55%で、ほぼ変わらず高い状況です。これは、不安やストレスを抱える生徒を含めすべての生徒に、教員が常に寄り添いながら、励まし続けていることの表れであると考えています。

「⑤自分にはよいところがあると思いますか。」については、前期は「そう思う」21%、「大体そう思う」50%で、後期も「そう思う」22%、「大体そう思う」48%と、ほぼ変わらずあまり高くない状況です。生徒の良いところを見つけ、時を逃さず褒め、学級・学年通信で紹介することなどの取組を、実施していることで、徐々に自己肯定感や自己有用感が高まっていることがわかりますが、そう簡単には解決しない課題もあります。今後も家庭や小学校と連携して、継続的に取り組んでいく必要があります。

② 基本的生活習慣の確立

「⑩規則正しい生活(早寝・早起き・朝ごはん)ができていますか。」については、前期と同様に、約3割の生徒が「あまりできていない」と回答しています。規則正しい生活のリズムは、体調管理に結びついています。遅刻や欠席がさらに減るよう、家庭と連携しながら働きかけを行っていきます。また、体の成長が著しい時期ですので、適切な食事が大切であることを、いろいろな機会に生徒や保護者に伝えていきます。

「学校・家庭・地域との連携」 (アンケート番号⑭～⑲)

今回のアンケート結果から見えてきたことと、これから意識的に取り組んでいくことを、以下に記載します。

① 家庭・地域との連携

「⑯学校からのプリントをお家の人に見せていますか。」については、73%の生徒が学校からのプリントを概ね見せていますが、前期と比べ13ポイント低下しました。学校と家庭・地域を結ぶ大切なものですので、生徒にはプリントを保護者の方へきちんと見せるよう、働きかけていきます。

「⑱お家の人に学校でのできごとを話していますか。」「⑲お家の人や地域の人からほめられることがありますか。」については、74%の生徒が「概ね話している」と、また75%の生徒が「概ねほめられることがことがある」と回答し、ほぼ前期と同様の結果でした。親子のコミュニケーションは、子どもたちの活力になります。善意や適切な判断に基づく行動があった時は、時を逃さず、褒めることが、子どもたちの自尊感情を高めることにつながります。思春期の真只中にいる生徒と学校・家庭・地域の大人とのつながりを、より確かなものとすることを通して、生徒の健やかな成長に結びつけていきたいと思います。

「⑳地域の人との交流を楽しみにしていますか。」について、「そう思う」21%「だいたいそう思う」38%で、ほぼ前期と同様の結果でした。今年度はコロナ禍で多くの地域行事が中止となりました。地域社会とつながり、地域社会に貢献できる人材になってもらうためにも、地域の人たちとふれ合える地域行事を大切に、周りの大人への感謝の気持ちを育てていきたいと思っています。

② あいさつの習慣化

「⑩地域の人、先生たち、友だちに進んであいさつができていますか。」については、78%の生徒が「概ねあいさつしている」と回答し、前期とほぼ同様の結果でした。あいさつは、人と人とのコミュニケーションの入り口の役割を果たします。コミュニケーション能力を高めるためにも、今後もしっかりとできるように働きかけていきます。